

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月27日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	5	1	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	安全面や、より高い支援のために職員の増員なども検討してまいります。
	3	6		児童の動線に配慮して机や棚を配置するなど、分かりやすい空間作りをしており、見通しを持った行動につながるよう工夫しています。	
	4	6		日々の清掃や片付けで清潔を保ち、感染症予防に努めています。清掃には、消毒液を使用しています。	
業務改善	5	6		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月2 回リフレクシオン会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	6	6		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有しながら今後の支援につなげています。	
	7	6		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	6		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	10	6		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	11	6		社内共通様式で標準化されたアセスメントシートを使用しています。	
	12	6		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13	6		職員間で共通認識のもと、支援計画に沿った支援をおこなっています。	
	14	6		職員一人ひとりが意見を言える環境づくりに努め、周知・共有を行い、チームで立案しています。	
	15	6		季節感や社会情勢を踏まえ、常に新しい情報を活用しながら、全職員が活発に意見を出し合っています。	
	16	6		個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しています。	
	17	6		ミーティングでその日の支援内容や、スケジュール、職員の役割分担を確認しています。	
	18	6		支援終了後に職員全員が気づきや意見を言い、共有する時間を大切にしています。	
	19	6		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。	
20	6		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		
関係機関や保護者との連携	21	6		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当会議に参画しております。	
	22	4	1	関係機関との会議にも積極的に参加し、子育て支援等からいただいた情報は活用させていただいています。	今後も継続して情報の共有に努め、事業所からも自発的な問題の提起や情報提供をおこない、児童の支援に反映させるよう努めてまいります。
	23	3	3	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	3	3	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	6		移行の際には保護者様の許可を得たうえで保育所や幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	
	26	6		小学校などへ進学時には保護者様のご意向を確認したうえで、進学先との情報共有に努め、相互理解を図っております。	
	27	6		現在は、電話で助言をいただいたり情報交換をおこなっています。	
	28	1	5	本年度も、事業所等訪問支援も行ってまいりましたが、感染症の状況と、保護者様のご意向によって、個別の対応は可能な状況となっております。	コロナ収束後ではありますが、今後は保護者様のご意向を伺いながら、企画をおこない、交流機会を作れるように努めてまいります。
	29		6	今年度はコロナ禍で協議会への参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が開催される際には積極的に参加し、研鑽に努めてまいります。
	30	5	1	送迎時のやり取りや連絡帳を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めています。	今後も引き続き機会を逃さず情報共有を図り、保護者様との信頼関係の構築と共通理解に努めてまいります。
保護者への説明責任等	31	6		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするよう努めています。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	32	6		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明をおこなっております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。	
	33	6		ガイドラインに基づいて支援計画を作成しています。保護者様へは支援計画の内容を示す中でわかりやすい言葉を使って計画の同意を得ております。	
	34	6		連絡帳や電話、送迎時、面談を行い、子育てのお悩みやご質問・助言をおこなうなどの支援に努めています。	
	35		6	今年度もコロナの影響もあり、実施を見合わせております。	状況が落ち着き次第、定期的に保護者会等が行えるよう企画・検討してまいります。
	36	6		苦情窓口を定め、迅速かつ適切な対応ができるように整備に努めております。	
	37	6		公式WebサイトのブログやSNSで情報を発信し、季節ごとに「おたより」を発行しております。	
	38	6		個人情報に関する事項について、全職員が常に意識して業務にあたり、その使用や処分に関心を持って、保管も鍵付きの書庫で保管しています。	
	39	6		保護者様とは、送迎の時間の会話や連絡帳での交流を大切にしています。児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用して、わかりやすく情報を伝えるように配慮しています。	
	40	2	4	コロナ禍でもあり、また通所を公にしたくはないため、保護者様もおられるため、今年度も行事に地域住民の方をご招待するような計画はおこなっておりません。	現時点ではコロナ禍であるため、事態の収束がみられない限り企画等は難しい状況です。今後、事業所の取手がみられた時点で保護者様からのご意向を踏まえ、地域イベントに児童と参加したり、事業所主催行事に近隣の方々をお招きしたり、交流を企画・検討してまいります。
非常時等の対応	41	6		各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。また、定期的に児童と共に行い避難訓練を実施しております。	
	42	6		避難訓練は、年間計画を立てて児童も参加して定期的に行っております。連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、訓練の様子は次の月の連絡帳カレンダーを通して紹介しております。	
	43	6		標準化されたアセスメントツールを使用して、状況の把握に努めております。また連絡帳などを通して状況の変化も確認させていただいております。	
	44	6		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	45	6		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して再発防止に努めております。	
	46	6		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。	
	47	6		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。